

つるかめの島

補助テキスト Word045「富良野・美瑛 北の国から」の改訂版。2段組文書の、典型的なパターンです。文章がページにぴったり収まるように、写真を活用しましょう。

1. 準備

①完成図（最終ページ）をイメージして、使用するフォント・写真素材を決めます。作品例では、本文には「MS 明朝」12pt を、見出しには「DFP 超極太楷書体」を使用します。

②添付の写真「01.jpg」「02.jpg」「03.jpg」のほか、ネット上から使用する写真を集めます。作品例では、

「写真AC」サイトから「竹富島」キーワードで、右の写真を使用しました。



2. ページ設定

①ワードで、新規文書を開きます。「ページレイアウト」タブ→「余白」→「狭い」に設定。

②「ホーム」タブ→「スタイル」グループの「標準」を右クリック→「変更」で、標準フォントを「MS 明朝 12pt」に設定します。

3. タイトル

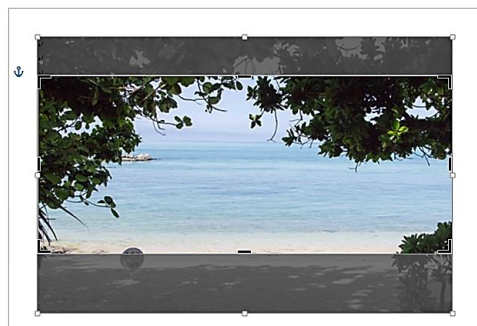
①タイトル用のスペースを確保するため、改行を 15 個ほど入れます。

②タイトルバック用の写真を、挿入。横幅いっぱい、横長写真となるよう、拡大・縮小やトリミングを利用します。

「文字列の折り返し」は、行内でも前面でも四角でも、何でも OK。

③ワードアートを挿入し、「つるかめの」と入力。文字の色を白、斜体、影付きにします。フォントサイズは適宜調整。

④「つるかめの」ワードアートをコピーして、「島」「沖縄 竹富島」を作成、バランスよく配置します。



4. 本文

①タイトルの下から2段組を設定するために、セクション区切りを入れます。タイトルのすぐ下にカーソルを置き、「ページレイアウト」タブ→「区切り」→「セクション区切り」の「現在の位置から開始」を選びます。

②カーソルの位置を変えずに、「ページレイアウト」タブ→「段組み」→「2段」を指定。

③文章を入力します。

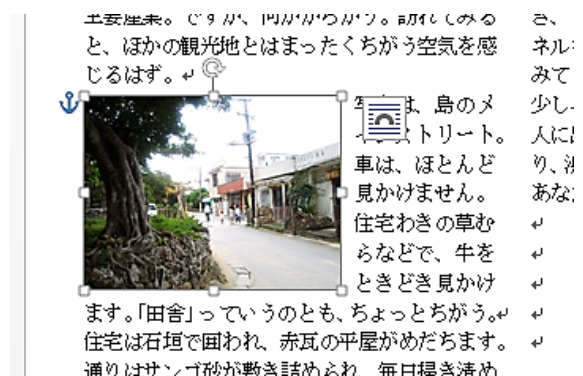
※文章入力後に段組みを設定する方法もあります。余裕があったら、両方試してみましょう。



④用意した写真を挿入。「文字列の折り返し」は「四角」に設定します。

適切な位置に挿入し、大きさを調整します。

⑤文章が、ページ末尾ぴったりに収まるように、挿入する写真の枚数・大きさを調整します。



沖縄 竹富島 つるかめの島

石垣島から、高速船で約 10 分。ドラマ「つるかめ助産院」の舞台となった竹富島は、石垣と西表の間にある、周囲 9 km の小さな島です。

沖縄県の多くの離島と同様に、この島も観光が主要産業。ですが、何かがちがう。訪れてみると、ほかの観光地とはまったくちがう空気を感じるはず。



写真は、島のメインストリート。車は、ほとんど見かけません。住宅わきの草むらなどで、牛をときど

き見かけます。「田舎」っていうのとも、ちょっとちがう。

住宅は石垣で囲われ、赤瓦の平屋がめだちます。通りはサンゴ砂が敷き詰められ、毎日掃き清められています。集落のあちらこちらには、南国らしい花が咲き乱れている。私たちの日常とは、別の世界です。

学校も、ちょっとちがった雰囲気。集落の中心に、竹富小中学校があります。へえ、こんな学



校も、あるんだ。ぜひ、覗いてみてください。



島でいちばんの高層建築物は、「なごみの塔」と呼ばれる見晴らし台。島全体が、見渡せます。

集落の中心部から海まで、およそ 1 km。気候のいい時期だったら、徒歩で OK。アクティブに動きたいときは、レンタサイクルがおすすめです。平坦なので、島じゅうどこでも、ムリなく移動できますよ。

メインビーチのコンドイ浜や、牧場脇を通って、星砂で有名なカイジ浜にも行ってみましょう。

「きれい」というより、「素朴な海」が広がっています。

もしあなたが、日々の生活に疲れてしまったとき、この島を思い出してください。そして、エネルギーが少し残っていたら、この島を訪れてみてください。

少し早起きして、島を散策してみる。道を掃く人に出会ったり、牛がとつぜん現れて緊張したり、浜辺で一人ぼんやりしたり。そんな時間が、あなたの中の何かを変えてくれますよ、きっと。

